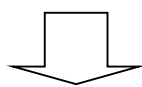


第3章 基本的な考え方

1 目的

羽幌町では、「次世代育成支援行動計画」として、「自然や人に優しく、自分の人生をたくましく切り開いていく子ども達に育ててほしい」という願いをこめて理念を設定し、計画の基本視点としては次の4つのテーマを設けます。

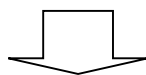
次世代育成支援行動計画 基本理念



心と心をつなぎ 子育て支援

地域で支えあい やさしく たくましく育め 子どもたち

テーマ



- 1 家庭・地域における子育て支援
- 2 子どもや子育てにやさしい環境づくり
- 3 ゆとりある教育と健全育成の推進
- 4 子育てに対する意識啓発

2 基本理念

羽幌町の子ども・子育て支援事業は「次世代育成支援行動計画」の理念を踏まえながら、羽幌町に住む一人ひとりの子どもたちが、健やかに育つための支援を推進しています。障がい、疾病、虐待や貧困など社会的な支援の必要性の高い子どもやその家族を含め、全ての子どもが心身共に健やかに育つ環境を推進することを基本理念として設定しました。

子ども・子育て支援事業 基本理念



心と心をつなぎ子育て支援

健やかな育ち やさしく あたたかく地域で支える

テーマ



1 子どもの健やかな成長を支える

2 すべての子育て家庭を支える

3 地域全体で子育てを支える



○「次世代育成支援行動計画」においては、「子ども」「親・家庭」「地域」「事業主」が主体的に行動するとともに、お互いに助け合いながら、ともに育ちあうことを基本的な視点として取り組んできました。

○こうした視点は、子ども・子育て支援法の趣旨である「一人ひとりが個性ある存在として認められ、自己肯定感を持って育まれることが可能となる環境を社会全体で整備すること」、そして「地域や社会が保護者に寄り添いながら、親としての成長を支援すること」と合致するものです。

○このことから、親が子育てを主体的に担うことを前提としつつ、子育てを地域全体で見守り、支えていく環境づくりを、より一層進めることで、羽幌町独自の理念を、これからも変えることのない大切な理念として継承するものとします。

3 基本的な視点

子どもの育ちと子育てをめぐる環境を踏まえ、乳児期、3歳未満の幼児期、3歳以上の幼児期、学童期のそれぞれの段階を経て、成長を遂げていく子どもの育ちをしっかりと支えていくために、以下の視点に立って子ども・子育て支援を推進します。

①乳児期

乳児期は、一般に、身近にいる特定の大人（実親のほか、里親などの実親以外の養育者を含む）との愛着を育みながら、身体的にも、著しい発育・発達が見られる重要な時期です。

また、子どもが示すさまざまな行動や欲求に、身近な大人がいち早く、かつ積極的に関わることで、子どもの中に、人に対する基本的な信頼感が芽生え、情緒の安定が図られていきます。こうした情緒の安定を基盤として、心身の発達が促されるなど、人として生きていく土台がこの時期に作られます。

②幼児期 3歳未満

おおむね満3歳に達するまでの時期は、一般に、基本的な身体機能や運動機能が発達し、さまざまな動きを十分楽しみながら、人や物との関わりを広げ、行動範囲を拡大させていく時期です。

自我が育ち、強く自己主張することも多くなりますが、大人がこうした姿を積極的に受け止めることにより、子どもは自分に自信を持つようになります。自分のことを信じ、見守ってくれる大人の存在により、子どもは時間をかけて自分の感情を鎮め、気持ちを立て直していきます。

また、安心感や安定感を得ることにより、子どもは身近な環境に自ら働きかけ、好きな遊びに熱中したり、やりたいことを繰り返し行ったりするなど、自発的に活動するようになります。さらに、特定の大人への安心感を基盤として、徐々に人間関係を広げ、その関わりを通じて社会性を身に付けていきます。

③幼児期 3歳以上

おおむね満3歳以上の時期は、一般に、遊びを中心とした生活の中で、特に身体感覚を伴う多様な活動を経験することにより、豊かな感性とともに好奇心、探究心や思考力が養われ、それらがその後の生活や学びの基礎になる時期です。

また、物や人との関わりにおける自己表出を通して、幼児の育ちにとって最も重要な自我や主体性が芽生えるとともに、人と関わり、他人の存在に気付くことなどにより、自己を取り巻く社会への感覚を養うなど、人間関係の面でも日々急速に成長していきます。

このため、この時期における育ちは、その後の人間としての生き方を大きく左右する重要なものとなります。

④学童期

小学校就学後の学童期は、生きる力を育むことを目指し、調和のとれた発達を図る重要な時期です。この時期は、自立意識や他者への理解などの社会性の発達が進み、心身の成長も著しいものがあります。

そのためにも、学校教育とともに、遊戯やレクリエーションを含む、学習や様々な体験・交流活動のための十分な機会を提供し、放課後などにおける子どもの健全な育成にも適切に配慮することが必要です。

4 施策体系

羽幌町の子ども・子育て支援の施策を以下にまとめています。

理念	基本的視点	基本目標	基本施策
心と心をつなぎ子育て支援健やかな育ちやさしくあたたかく地域で支える	子どもの健やかな成長を支える	目標 1 子どもが健やかに育つ環境づくり	・ 地域における子育て支援体制の整備
		目標 2 様々な状況にある子どもへのきめ細やかな取り組みの推進	・ 要支援児童への対応などきめ細かな取組の推進
	すべての子育て家庭を支える	目標 3 安心して産み、育てることを見守る体制づくり	・ 次世代の親の育成 ・ 学校等の教育環境の整備 ・ 家庭や地域の教育力の向上 ・ 子どもを取り巻く有害環境対策の推進 ・ 子育て家庭への経済的支援の推進 ・ 若い世代からの子育て意識啓発 ・ 家庭における子育て機能の向上
		目標 4 仕事と生活の調和	・ 保育サービス・学童クラブの充実 ・ 仕事と子育ての両立の推進 ・ 男性を含めた働き方の見直しと男性の子育て参加の促進
	地域全体で子育てを支える	目標 5 地域における子育て支援の充実	・ 親と子の健康の維持・増進 ・ 医療サービスの充実
		目標 6 安心・安全な子育てを支える地域づくり	・ 子育てを支援する生活環境の整備 ・ 子どもの安全の確保